



誰もがつながりあって
安心して暮らせる まち 上尾



No. 158

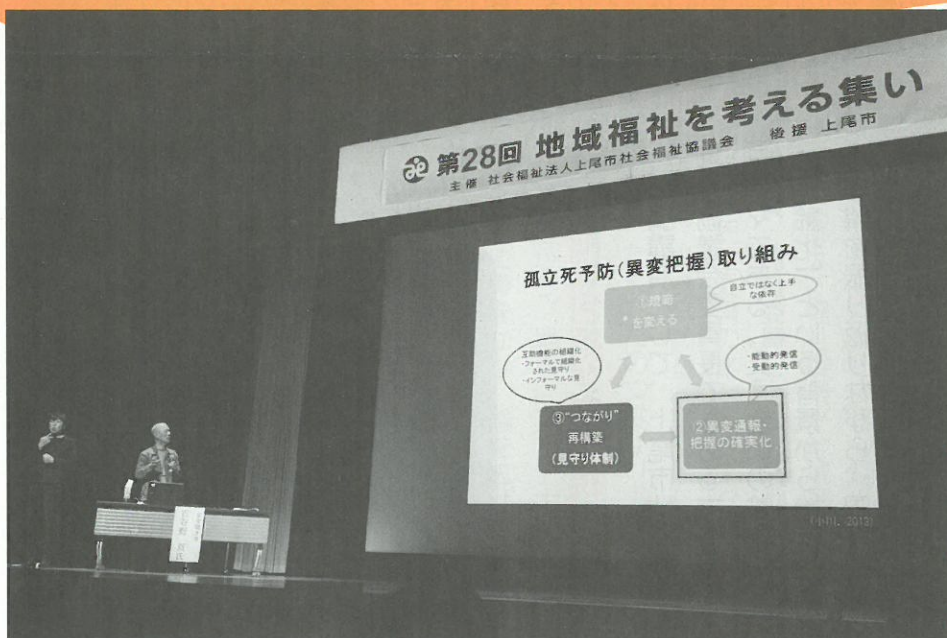
平成31年(2019)

4月1日号

年4回
(1月・4月・7月・10月)
発行

あげお社協だより

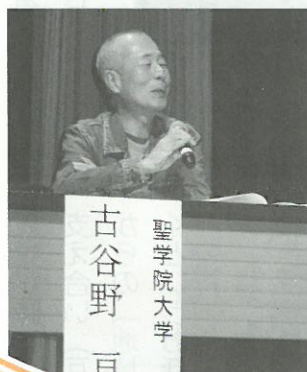
市制施行60周年記念 第28回地域福祉を考える集い



つなげよう!
支えあいの輪!
～私たちの活動を次の世代へ～



大勢の方々にご来場をいただき、
ありがとうございました。



社協だより158号の内容

- 市制施行60周年記念 第28回地域福祉を考える集い…… P 2～3
- これからの社会福祉協議会…… P 4～5
- 上尾警察署との見守りの連携…… P 5
- 平成31年度善意銀行助成金のお知らせ…… P 6
- 善意銀行・ボランティア基金にご協力ありがとうございました
- 平成31年度日本赤十字社募金にご協力をお願いいたします… P 7
- 平成30年度上尾市社会福祉協議会会員会費報告
- 平成30年度共同募金運動にご協力いただきありがとうございました
- 平成30年度歳末たすけあい募金配分事業報告
- お知らせ掲示板…… P 8

編集・発行人

社会福祉法人

上尾市社会福祉協議会

会長 畠山 稔

〒362-0011 上尾市大字平塚724番地

上尾市総合福祉センター内

TEL 048-773-7155

FAX 048-772-8647

<http://www.ageo-shakyo.or.jp/>



ホームページ

この社協だよりは、共同募金配分金を活用し発行しています。

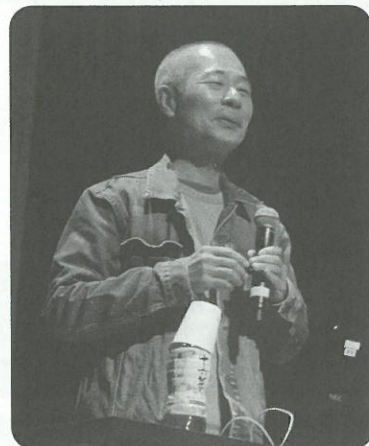
つなげよう！支えあいの輪！

～私たちの活動を次の世代へ～

平成31年2月2日（土）上尾市文化センターに於いて第28回地域福祉を考える集いを開催しました。第1部では平成30年度の感謝状贈呈式及び小中学生作文コンクール表彰式が行われ、第2部ではシンポジウムが開かれました。当日は、多くの地域関係者をはじめ、地域包括支援センター、行政関係者など約500人が参加しました。

各地域では現在、地域福祉懇談会をはじめとする話し合いの場で、地域における“支えあい”について活発に意見交換が行われているところです。今回のシンポジウムでは、基調講演及び地域における実践事例を通じて、“支えあいの輪”を広げるためには、どのような工夫や支援が必要なのかについて、皆さんと一緒に考える機会となりました。

地域包括ケアの視点から



聖学院大学 人間福祉学部長兼心理福祉学部部長
教授 古谷野 巨氏

基調講演として、上尾市地域包括ケアシステム推進協議会委員長でもある古谷野氏より、今回のテーマである「支えあいの輪」について、「人口の高齢化」という背景から始まった介護保険制度の経緯を振り返りながら、国が推進している「地域包括ケア」の視点で分かりやすく説明していただきました。

古谷野氏が講演を通じて伝えていたことは、たとえ素晴らしい仕組みを構築したとしても、また最新機器による見守り等のシステムを作ったとしても、最後は、制度ではない支援として、近隣の人たちの声かけや見守りなどの互助活動、あるいはボランティア活動や住民組織の活動が肝になるということでした。また、支えあいの輪を広げるためには、「支える人」「支えられる人」と分ける、従来の考え方から一歩進んで「支えられる

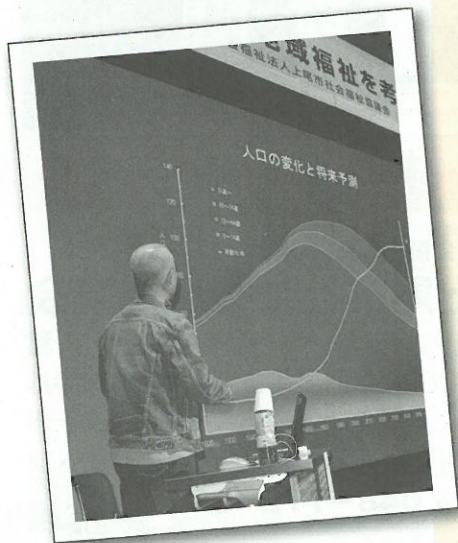
人」が時には「支える人」になるなど、「相互の支えあい（互助活動）」こそが重要であり、これからの「地域包括ケア」の大切な中身になっていくというお話をいただきました。

「地域包括ケアシステム」とは



厚生労働省では、「団塊の世代が75歳以上となる2025年を目前に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自ららしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムのこと。今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要」としている。

また、「地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基つき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要」としている。



実践事例①

ぬくもりのある 地域づくりを目指して



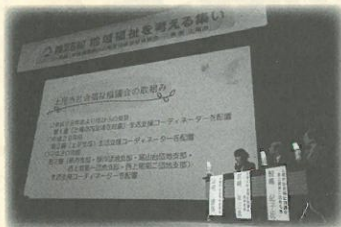
上尾市社会福祉協議会
原市支部
支部長 宮崎 年三 氏

宮崎氏からは、支部助け合い事業「地域のちいさなたすけあい」について報告していただきました。

「元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える仕組みを、今の時代に作り上げることが必要」という思いから、支部事業として助け合い活動の立ち上げを開始して、2年が終わろうとしています。

具体的な困りごと（例：庭木の伐採等）に対して、顔の見える範囲で事務区ごとに助け合いの仕組みを構築するというこの事業は、原市地区全事務区（11事務区）の合意と賛同が不可欠のため、区長会にて提案し、協議を重ねました。提案した時点で、すでに自発的な助け合い活動が立ち上がっているところ（1自治区+2事務区）もあり、座談会や地域福祉懇談会での事例発表、話し合いを重ねながら、地区全体の「支え合いの輪」として広がっています。

「2020年度までに11事務区全体にこの活動が拡大すること」を目標に掲げ、原市地区の地域福祉の向上を目指していきたいと思っています。



鮫嶋氏からは、専門職との連携で既存の取り組みに新たな視点を加えた実践とともに、活動の担い手探しについての考え方を報告していただきました。

西上尾第二団地支部では、サロン活動の大きな変化がありました。

2つのサロンを合体させリハビリや交流だけの場ではなく、介護保険で「要支援」の認定を受けている方々も参加できるような介護予防教室を目指して、新たなスタートを切りました。

上尾市リハビリテーション連絡協議会との連携で、理学療法士や作業療法士の方々から分かりやすく指導していただきながら、取り組んでいます。

当支部は、福祉委員が地域福祉の担い手であり、民生委員・児童委員とともに活動に取り組んでいます。また、民生委員のネットワークが大きな役割を果たしており、単身高齢者調査をはじめ、様々な地域活動を通して、たくさんの方々のつながりの中から、声を掛け合い、仲間づくりをしています。

日ごろから、地域にアンテナを向け、様子を見ながら、地道に声をかけ、輪を広げています。今後も、人との『縁』を大事にしながら、いつまでも住み続けられる西上尾第二団地を目指して活動をしていきたいと思っています。

実践事例②

みんなが参加する 支え合いの輪



上尾市社会福祉協議会
西上尾第二団地支部
支部長 鮫嶋 紀子 氏

地域福祉を進める方法について、いろいろな考え方があることを知りました。

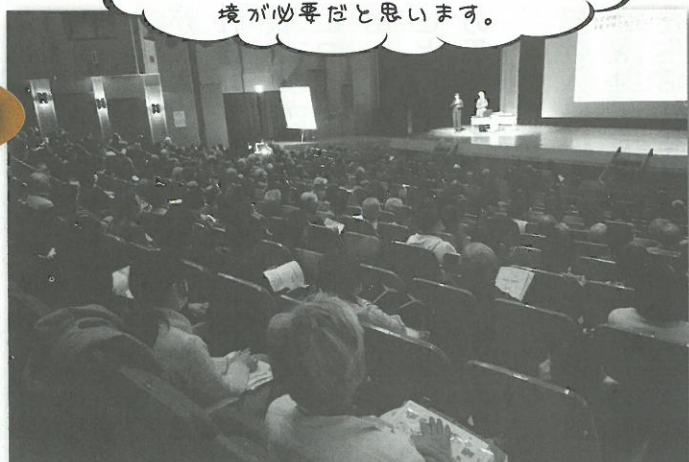
班単位などの小さな範囲の中で「小さなおせっかい」をするのが必要だと思います。

参加者の声

「単身高齢者調査は支える担い手の発掘の場」という言葉が印象的でした。単身者は、生きがいを持ちづらくなっている中で、ボランティア活動はその一助になると思いました。



手を差し伸べたい気持ちがあっても、なかなか伝えることが出来ない。そっと手を伸ばせる環境が必要だと思います。



たくさんの方のご来場、誠にありがとうございました。

これからの社会福祉協議会

社会福祉協議会ってなに

「社会福祉協議会」は、地域住民を会員とする民間の福祉団体です。自分たちの「地域」は、自分たちでつくるという視点で、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を応援するところで、略して「社協」と呼ばれています。

「社会福祉協議会」は、社会福祉法で「住民主体による地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と定められており、各市町村の単位でひとつしか設置できない特別な社会福祉法人です。「民間」の立場で住民の声に耳を傾けながら活動していることが大きな特徴です。「社会福祉協議会」の対象者は、全ての地域住民です。そこでは、住民参加の原則、会員会費制、行政からの受託事業など、極めて公共性の高い側面も持つており、多くの方の参加を広く呼びかけています。



12の支部社協による「願い」 「一人ひとりにとってめくもり のある地域づくり」

上尾社協では、12に地域を分けそれぞれに「支部社協」を設置しています。

また、4つの団地支部を除き、各支部は複数の自治会、町内会、区会を内包しており、地域を代表する事務区長、各圏域で活動する民生・児童委員、いきいきクラブ連合会、母子愛育会他のメンバーに参加をいただいています。

支部社協では、地域で生じる様々な生活課題を地域全体の課題として捉え、みんなで考え、話し合い、協力して解決をはかることを目的に地域福祉活動に取り組んでいます。

支部社協の役割は、各圏域間の連携、情報の共有、当該支部圏域で取り組むべき福祉課題などへの事業及び啓発活動であると位置づけています。



社会福祉協議会と互助活動 「2025年までに」

昭和22年から24年生まれのいわゆる団塊の世代が全員70代半ばを超え、75歳以上人口が大幅に増える年まで、後6年余りとなりました。上尾社協に寄せられる相談において、健康上の問題で日常生活に何らかの支障をもつ方や、ひとり暮らしの方から孤立や孤独感により生活上の不安を訴える方が、年々増えていることを課題として捉えています。

現在、病気に関しては医療機関に頼ります。また、身体介護が必要となった場合は、介護サービスが利用できます。このサービスは、皆さんが加入する保険制度において用意されています。しかしながら、要介護状態となる前でも、年をとるとともにつらくなることは、買い物やゴミ出しなどの家事や人との接点が減ることでの寂しさや、味気ない生活への不安です。

介護予防等の取り組みを積極的に受け入れていただき、自身の健康寿命を延ばして、趣味の活動や自立した生活を送ることも大切です。しか

し一方で、つらいと感じる家事について、身近な住民間でコミュニケーションをとりながら助け合う互助活動が、私たちの生活を自分たちで守る自治活動と重ねて、とても重要になると上尾社協では考えております。

支部社協を通じた

生活支援体制の構築

上尾社協と支部社協は「誰もがつながりあって安心して暮らせるまち上尾」をスローガンに地域づくりを目指しています。

具体的には「見守り」「サロン（集いの場）」「助け合い」「ネットワークの構築」を柱にしたこれまでの取り組みを基に、福祉の基盤整備を進めています。

支部による見守りをはじめとする諸活動において、対象となる方は、支部の圏域からでは距離があり、潜在化する中で、仮に「助けて欲しい」との声が寄せられても、その声があまりにも小さく、聞き逃してしまふ事があるかも知れません。

対象者の生活を身近で支える自治

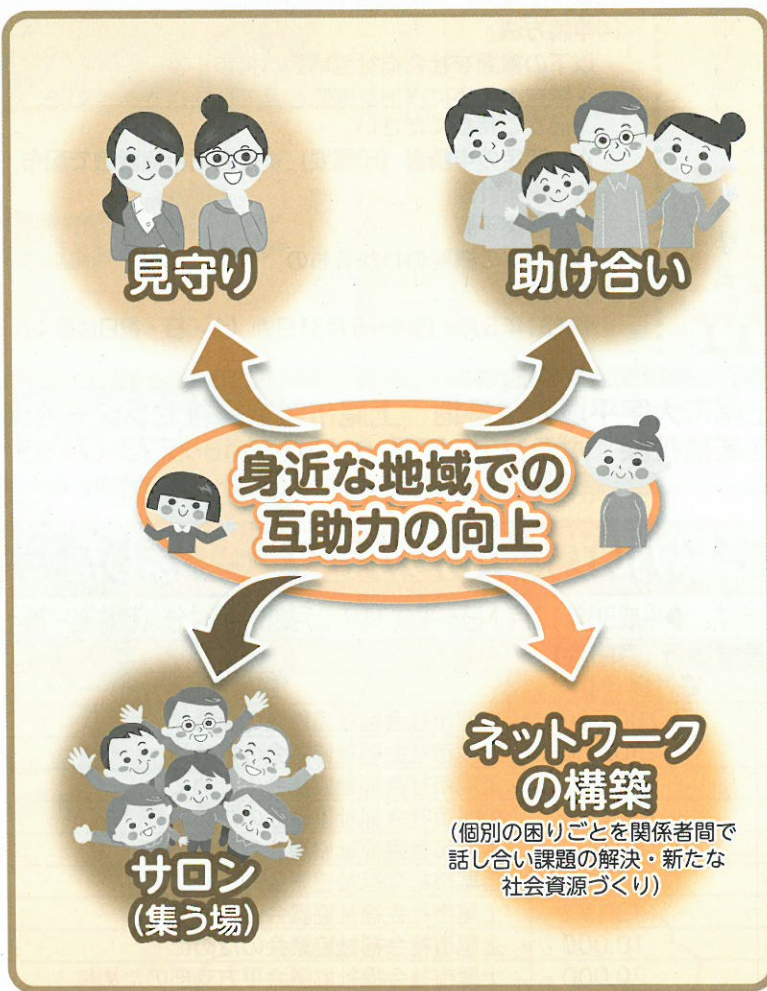
会、町内会、区会の連携や協力がとても重要です。

また、この互助活動を財政的に支える「会員会費」や「募金」は、各事務区圏域で班長さん等に汗をかいながら集めていただいております。今後ともご協力をお願いいたします



住民参加・住民主体が原則

「こんな地域があつたら」という願いを社会福祉協議会に寄せてください。そして、「できることから始めよう」をボランティア活動推進の合言葉に、自治会、町内会、区会、各団体・個人の皆さんの取り組みにおいて「様々な人も包みこむぬくもりある地域づくり」に、ご参加とご協力をお願いいたします。



上尾警察署との見守りの連携

子どもや高齢者等が安心して生活できる社会づくりを推進するため、上尾警察署と上尾社協は1月22日、見守りネットワークについての覚書を締結しました。上尾社協では、市内12の支部社協と協働した「あつたか見守りサービス」を展開しています。また、社協への様々な相談では、対応が長期化し、相談者に寄り添いながら見守る方も少なくありません。

上尾警察署において、安達警察署長と畠山会長が調印。安達署長は「多問題化する子どもや高齢者の方々の生活に対して、安全と安心を確保するために、双方で連携し協働していきたい」と抱負を伝えていただきました。



平成31年度善意銀行助成金のお知らせ

上尾市社会福祉協議会では、市民のみならず「社会福祉の向上のため」の善意のご寄付をお預かりしています。

1. 交通遺児の方への「入学・進級・卒業」の祝い金

(1)対象

交通事故により、親権者が死亡・重度後遺障害となった交通遺児と生活をともにしている保護者で、上尾市内に住所を有している方

*保護者が婚姻されたり、遺児を監護しなくなった場合は対象外となります。

(2)申請方法

以下の書類を社会福祉協議会へ持参または郵送

A 所定の申請書（印鑑要）

*社会福祉協議会で配布またはHPよりダウンロード

B 事故証明書または死亡診断書等の写し

C 入学・進級・卒業を証明する書類

D 住民票（家族全員が記載されたもの）

E 保護者名義の通帳の写し

(3)受付期間

平成31年4月1日(月)～4月26日(金)
(土・日・祝日は除く)



2. 社会福祉向上のための事業助成

(1)対象

市内に活動の拠点を置いて福祉に関する活動を行う社会福祉法人、NPO法人、その他の任意団体

(2)対象事業

高齢者、障がい者、児童等の福祉向上につながる社会福祉事業

*団体の日常的な経費、定例化した事業については対象外

(3)助成金額

10万円以内 *審査があります。

(4)申請方法

以下の書類を社会福祉協議会へ持参

*審査のために詳細を確認させていただきますので、必ずご持参ください。

A 所定の申請書（印鑑要）*社会福祉協議会で配布

B 事業計画

C 事業予算

D 団体の概要のわかるもの

(5)受付期間

平成31年5月1日(水)～5月31日(金) (土・日・祝日は除く)

問い合わせ申し込み

〒362-0011

上尾市大字平塚724番地 上尾市総合福祉センター内
地域福祉課 ボランティア係 TEL 048-773-7155

善意銀行・ボランティア基金にご協力いただきありがとうございました。

お預かりいたしました寄付は、有効に活用させていただきます。◆平成30年12月1日～平成31年2月28日受付分（敬称略・順不同）

善意銀行（寄贈金）		
寄付者	寄付金（円）	寄付者
上尾遊技業組合	200,000	上尾市社会福祉協議会のために
上尾ライオンズクラブ第3回チャリティカラオケ大会	50,000	上尾市社会福祉協議会のために
齋藤 君江	50,000	上尾市社会福祉協議会のために
結城和也音楽事務所	31,800	上尾市社会福祉協議会のために
備前の里歩こう会	30,000	上尾市社会福祉協議会のために
株ベルク上尾東店	16,685	上尾市社会福祉協議会のために
株ベルク上尾春日店	13,172	上尾市社会福祉協議会のために
関根 洋平	10,000	上尾市社会福祉協議会のために
関根 洋平	20,000	上尾市社会福祉協議会平方支部のために
原市九区いきいきクラブ	11,060	上尾市社会福祉協議会原市支部のために
いきいきクラブ原市八区さくら会	5,434	上尾市社会福祉協議会原市支部のために
加藤 一子	1,200	上尾市社会福祉協議会上平支部のために
戸崎ゴルフクラブ	11,300	上尾市社会福祉協議会大谷支部のために
株式会社スパンコア	30,000	こども食堂とまとのために
株式会社スパンコア	30,000	子ども食堂でんでん虫のために
匿名	50,000	陸前高田市社会福祉協議会のために

善意銀行（寄贈品）			
寄付者	寄贈品	寄付者	寄贈品
上尾白ゆり会	タオル 1,305枚、石鹸129個	有料老人ホーム らぼーる上尾	成人用オムツカバー31枚
コンサートホール上尾	お菓子小箱1箱、靴2足、ボールペン8本	関口 仁之助	タオル・寝具類80枚
稲村 保	麻雀テーブル2台、椅子4脚、サイドテーブル4脚、牌1		

ボランティア基金			
寄付者	寄付金（円）	寄付者	寄付金（円）
根貝戸団地自治会	2,570	みやした幼稚園	20,275
こより会	50,000	ボランティアグループ手芸の会	50,000



平成31年度日本赤十字社募金にご協力をお願いいたします

5月を赤十字運動月間として、各地区の事務区長・班長の協力を得ながら活動資金（寄付金）の協力依頼を行っています。皆さまからお預かりした募金は、地震など大規模災害時の災害救援に関わる費用や、血液事業等人道的支援、地域社会に根ざした社会福祉事業、自分自身や家族を守る講習会などを実施するための資金として活用されます。

日本赤十字社埼玉県支部上尾市地区では、上尾市内で火災や水害などが発生した場合、被災された方に救援物資（布団、毛布、緊急セット）や見舞金をお届けしています。また、皆さまのお住まいの地区にお伺いして救急法講習会等を開催し、多くの皆さまに「日本赤十字社」の活動をご理解いただけるように努めてまいります。



※募金の目安額は、一世帯220円です。

平成30年度 上尾市社会福祉協議会 会員会費報告

(平成31年1月31日現在)

地区名	件数(件)	金額(円)
上尾地区(計)	2,780	1,642,500
① 上尾東	1,148	669,000
② 上尾西	786	503,900
③ 上尾南	846	469,600
平方地区	889	516,050
原市地区	1,222	754,600
大石地区	2,514	1,442,100
上平地区	1,542	955,451
大谷地区	1,375	771,016
原市団地	146	115,611
尾山台団地	311	204,400
西上尾第一団地	233	176,000
西上尾第二団地	248	190,500
その他	71	52,600
行政関係職員	1,014	748,500
小計	12,345	7,569,328
団体・施設会員会費	301	1,986,000
合計		9,555,328

平成30年度 共同募金運動にご協力いただきありがとうございました

事務区長・班長をはじめ、各種団体の皆さま、市民の皆さまにご支援、ご協力をいただき、共同募金運動を実施することができました。

以下のとおり募金実績及び歳末たすけあい募金配分金事業についてご報告させていただきます。ご支援・ご協力ありがとうございました。

共同募金運動にご協力いただいた方

(順不同・敬称略)

戸別募金：上尾市区長会連合会／上尾市民

学校募金：児童・生徒／保護者／学校職員

街頭募金：ボーイスカウト上尾市連絡協議会／ガールスカウト上尾地区協議会／上尾市ボランティア連絡会／上尾市いきいきクラブ連合会／立正佼成会上尾教会／輪太鼓虹の会／上尾市民生委員・児童委員協議会連合会／西上尾第二団地自治会(秋のつどい)

法人募金・個人大口募金：個人協力者／上尾市内・外企業及び施設

職域募金：上尾市区長会連合会／上尾市民生委員・児童委員協議会連合会／学校職員／施設職員／団体職員

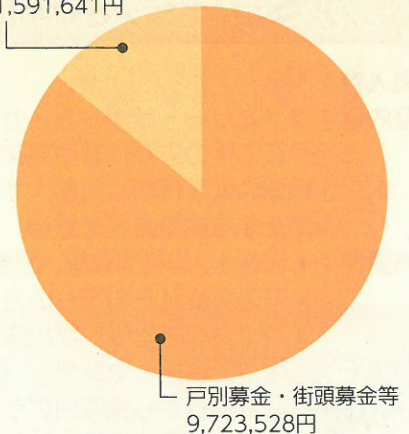
募金箱設置場所：ラッキーバード／上尾市総合福祉センター



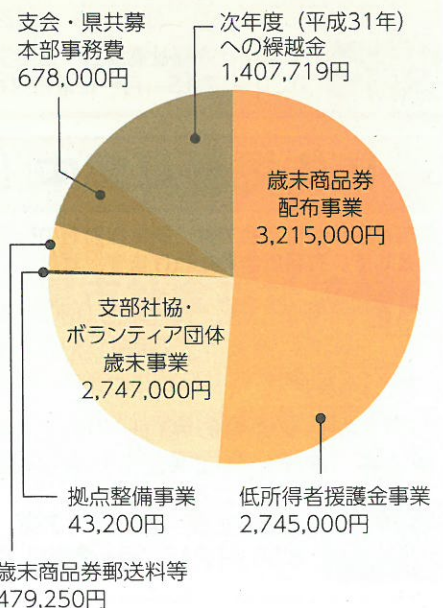
平成30年度 歳末たすけあい募金配分金事業

【収入】

前年度(平成29年)からの繰越金
1,591,641円



【支出】



平成30年度赤い羽根共同募金実績

(平成31年1月31日現在)

地区名	実績(円)
上尾地区(計)	2,857,418
① 上尾東	1,244,587
② 上尾西	781,240
③ 上尾南	831,591
平方地区	640,497
原市地区	2,638,258
大石地区	2,874,666
上平地区	2,194,053
大谷地区	1,753,129
原市団地	57,232
尾山台団地	201,243
西上尾第一団地	283,200
西上尾第二団地	203,713
小計	13,703,409
法人募金・個人大口募金	1,089,667
街頭募金	222,232
学校募金	328,284
職域募金	1,057,050
合計	16,400,642

平成30年度歳末たすけあい募金実績

(平成31年1月31日現在)

地区名	実績(円)
上尾地区(計)	2,057,104
① 上尾東	932,232
② 上尾西	547,988
③ 上尾南	576,884
平方地区	375,164
原市地区	1,665,322
大石地区	1,809,199
上平地区	1,519,988
大谷地区	1,058,521
原市団地	42,630
尾山台団地	142,596
西上尾第一団地	222,022
西上尾第二団地	163,324
小計	9,055,870
法人募金・個人大口募金	200,000
街頭募金	467,658
合計	9,723,528

法人募金協力団体
・上尾市仏教会

平成31年度上尾市社会福祉協議会 常勤職員募集

- **募集職種** 職種：社協事業全般
人数：若干名
採用年月日：平成31年7月1日
- **受験資格** 昭和59年4月2日以降に生まれた方
※長期勤続によるキャリア形成を図るため、若年層のみの募集とします。
- **資格等**
 - 社会福祉士、精神保健福祉士、社会福祉主事任用資格、介護福祉士、介護支援専門員、看護師、保育士のいずれかの資格をお持ちの方
 - 普通自動車免許（必須）
- **試験日** 一次試験：平成31年5月19日(日)
午前9時00分
会 場：上尾市総合福祉センター
(上尾市大字平塚724番地)

- **申込手続** 提出書類：試験採用申込書（所定の用紙）
自己紹介書（所定の用紙）
申込方法：持参または郵送
受付場所：上尾市総合福祉センター内
上尾市社会福祉協議会 総務課
受付期間：平成31年4月8日(月)～
5月10日(金)まで
※当日消印有効

◎詳しくは、「上尾市社会福祉協議会」ホームページより、「平成31年度上尾市社会福祉協議会職員採用試験案内」をご覧ください



問い合わせ

総務課 総務係 Tel 048-773-7155
8:30～17:15 月～金曜日（祝日を除く）

ファミリー・サポート・センター臨時職員募集

- 募集人数：1名
業務内容：ファミリー・サポート・センターに関する業務全般
子育て中の方が仕事や残業、用事等で子どもの世話が出来ないときに、地域の方が代わりに協力することが出来るように、援助活動のマッチングをする調整業務を担当。
- 資格要件：
 - 保育士、幼稚園教諭、看護師、準看護師のいずれかの資格をお持ちの方
 - 普通免許証をお持ちの方
 - パソコン基本操作が出来る方（ワード・エクセル）
- 勤務場所：上尾市総合福祉センター（上尾市大字平塚724番地）
勤務日：毎週月曜日から金曜日のうち週4日、3ヶ月に1回程度土曜日勤務あり
年に1～2回、日曜日勤務あり。年末年始は休日
勤務時間：午前9時～午後4時と午前10時～午後5時までの6時間勤務
シフト制（1時間休憩時間含む）
賃 金：時給1,060円 通勤手当 当会要綱に基づき支給 労災保険・雇用保険加入あり
- 問い合わせ 上尾市社会福祉協議会 在宅福祉課 支援係 Tel 048-777-0941
8:30～17:15 月～金曜日（祝日を除く）

車いすの貸出を行っています

- 対象者：市内在住在勤の方で、
介護保険等のサービス
を利用できない方
- 料 金：無料
貸出期間：2週間以内
持 ち 物：印鑑

貸出の際に
申請書を記入



※貸出状況により、すぐに利用できない場合がありますので、事前にお問合せください。

問い合わせ

地域福祉課 Tel 048-773-7155
8:30～17:15 月～金曜日（祝日を除く）

広告掲載募集中！

上尾市社会福祉協議会では、新たな財源の確保と地域経済の活性化を目的として、有料広告枠を設けます。ぜひ、ご活用下さい。

料金 1号につき、1区画25,000円(縦59mm、横95mm)
2区画50,000円(縦59mm、横196mm)

申し込み方法

掲載を希望する号の発行日のおおむね55日前に
申込書（原稿、図面案含む）をご提出下さい。

問い合わせ

地域福祉課 ボランティア係 Tel 048-773-7155
8:30～17:15 月～金曜日（祝日を除く）

広告

スマイルサプライズ

smile surpr!se

私たちは考えます。
お客様の驚きが感動へ
どんな時でも頼られる、そんな会社であり続けたい
お客様が笑顔になれる関係を目指したいと考えます。

株式会社

エコー宣伝印刷

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室7076
TEL 048-722-4681 FAX 048-722-4682
http://www.echo-senden.co.jp